



ご挨拶

理事長 野村 恭也



SPIOは平素より皆様方から暖かいご支援をいただいております、ここに厚く御礼を申し上げます。ご存知のように、昨年度より曾田SPIO助成金、曾田SPIO奨学金の制度が発足いたしました。前者は外国人留学生に対する、後者は日本人留学生に対して従来よりは手厚い奨学金の助成が行えるようになりました。財団としましては誠に有り難いことで助成財団としての役割を果たすことができていると思っております。

一方、我が国におきましては耳鼻咽喉科・頭頸部外科学会関係の学会活動が他国と比べましても甚だ活発でありまして、関連学会の数は16もあり世界一であります。学術の面で活動的であることは喜ばしいことですが、それぞれが国内、あるいは国際学会を開催するとなりますと主催者は如何に開催費用を捻出するかが頭痛の種になります。一昔前のように製薬会社からのご寄附をいただくことが現在は望めません。そこで皆様からはSPIOの助成金が出ないかお問い合わせをいただくこととなります。曾田SPIO助成金、奨学金、あるいはコストコ助成金も同じでございますが、これらはお金の使途が決まっておりますので学会開催には使用できません。現在は賛助会員の会費、SPIOを通しての募金総額の一部(事務費用4%)、等を当てておりますが、とても十分な助成はできません。

そこでSPIOが諸学会の開催費用を助成可能とするには、1. 賛助会員を増やす。すでに各大学の教授、准教授、講師、医局等には賛助員となっていただいておりますが、医師以外の方も賛助員になっていただければ有難いです。2. SPIOを通して募金を行ってください。これについて上限はありません。3. SPIOで募金を行い終了した後に余剰金があれば、SPIOへご寄附をお願いします。

このようなことで、ご寄附が多く集まれば、集まるほど多くの助成が可能となります。どうかよろしくお願ひ申し上げます。

コストコSPIO研究助成金

今年度も、国際的に有意義な研究に対する助成として、以下の3件の研究に対して、各々100万円を助成しました。

- (1) 多職種連携による小児難聴体制の構築
(九州大学 中川 尚志)
- (2) 耳管機能不全に対する外科的治療
(日本大学 大島 猛史)
- (3) 人口聴覚器の開発(愛媛大学 羽藤 直人)

令和1年度事業報告

- 1 留学生(1名)への研究助成
- 2 若手日本人(5名)への助成
- 3 国際的に有意義な研究への助成(3件)
- 4 SPIO Awardの授与
- 5 国際学術会議等開催助成(7件)
- 6 寄附金募集助成(44件)
- 7 その他(ホームページ、ニュースレター他)

令和1年度事業報告及び収支決算報告

6月開催の評議員会終了後に、ホームページを更新致しますのでご覧下さい。

2019年度 SPIO Award

SPIO Awardは、毎年Auris Nasus Larynx(ANL)に掲載された原著論文の中より、優秀原著論文1篇に対し、その著者に賞状と賞金(50万円)を贈呈しています。これは平成13年から始まり平成30年までに19名の受賞者を選出しました。

2019年度は、掲載された原著論文113編の中から候補対象となる65編を英文誌委員会のメンバーで審査し、最終的にSPIO Award候補論文として5編が推薦されました。その後SPIO選考委員会および理事会で選考した結果、金沢大学野田昌生氏が選ばれました。

Masao Noda: Microglial activation in the cochlear nucleus after early hearing loss in rats,
ANL Vol.46, No5., 716-723, 2019

SPIOクラブ

第121回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会の会期延長・縮小にともない、今年度のSPIOクラブの開催は中止となりました。助成活動のご案内及び賛助員の申込みは、事務局までお問合せ下さい。

E-mail: 3387@spio.or.jp